

公立学校施設の耐震化状況一覧
(非木造施設:2階建て以上または面積200㎡以上) (令和3年4月1日現在)

○小学校

学校名	建物名称	建築年度	構造※1	階数	面積(m ²)	耐震基準※2	耐震2次診断※3結果				耐震対策	吊り天井対策
							年度	IS値※4	CT×SD値※5	q値※6		
沼田小学校	北校舎	S48	RC	2	910	旧基準	H22	0.72	0.367	-	不要	-
		S49										
	西校舎	S54	RC	3	1,808	旧基準	H21	0.65	0.663	-	H28	-
	東校舎	S56	RC	2	1,756	旧基準	H21	0.86	0.875	-	不要	-
	屋内運動場	S50	RC	2	1,418	旧基準	H17	0.33	0.17	-	H23	-
沼田東小学校	北校舎	S44	RC	3	1,980	旧基準	H10	-	-	-	H13	-
		S45										
	北校舎	S46	RC	3	1,555	旧基準	H10	-	-	-	H13	-
	南校舎	S47	RC	2	1,500	旧基準	H10	0.87	0.39	-	不要	-
S47												
	屋内運動場	S48	RC	1	1,125	旧基準	H18	0.84	0.87	-	不要	-
沼田北小学校	南校舎	S53	RC	3	1,594	旧基準	H19	0.71	0.92	-	不要	-
	南玄関	S53	RC	2	250	旧基準	*H15	0.99	1.10	-	不要	-
	管理棟	S53	RC	2	1,133	旧基準	H21	0.96	0.583	-	不要	-
	北玄関	S53	RC	2	232	旧基準	*H15	0.99	1.10	-	不要	-
	北校舎	S53	RC	3	2,752	旧基準	H19	0.59	0.75	-	H28	-
	屋内運動場	S53	RC	2	1,501	旧基準	H18	0.67	0.69	-	H27	-
升形小学校	管理棟	S48	RC	3	1,411	旧基準	H21	0.40	0.526	-	H26	-
	北校舎	S55	RC	2	881	旧基準	H19	1.29	1.38	-	不要	-
	屋内運動場	H8	RC	2	1,262	新基準	-	-	-	-	-	H30
利南東小学校	西校舎	S55	RC	3	1,792	旧基準	H21	0.85	0.893	-	不要	-
	東校舎	H元	RC	3	1,917	新基準	-	-	-	-	-	-
	屋内運動場	S57	S	1	780	新基準	-	-	-	-	-	-
池田小学校	校舎	S59	RC	3	3,216	新基準	-	-	-	-	-	-
	屋内運動場	S48	RC	1	710	旧基準	H18	0.46	0.38	-	H26	-
薄根小学校	南校舎	S44	RC	2	1,533	旧基準	H9	-	-	-	H11	-
		S43										
	北校舎	S54	RC	3	2,283	旧基準	H21	1.03	1.083	-	不要	-
	特別教室棟	H10	RC	2	390	新基準	-	-	-	-	-	-
	屋内運動場	H元	RC	2	1,201	新基準	-	-	-	-	-	H29
川田小学校	東校舎	S49	RC	4	2,355	旧基準	H21	0.36	0.458	-	H25	-
		S50										
	西校舎	S51	RC	4	1,399	旧基準	H19	0.45	0.458	-	H22	-
	屋内運動場	H3	RC	2	1,247	新基準	-	-	-	-	-	-
白沢小学校	西校舎	S42	RC	3	1,608	旧基準	H18	0.49	0.423	-	H19	-
		S43										
		S43										
	東校舎	S54	RC	3	1,843	旧基準	H21	0.66	0.377	-	H27	-
H13												
	屋内運動場	S39	S	1	781	旧基準	H18	0.19	-	0.58	H22	-
利根小学校	校舎	S55	RC	3	1,826	旧基準	H21	0.70	0.711	-	H28.29	-
	屋内運動場	S56	S	1	710	新基準	-	-	-	-	-	H29
多那小学校	管理棟	S43	RC	2	615	旧基準	H19	0.41	0.385	-	H21	-
	教室棟	S57	RC	2	441	新基準	-	-	-	-	-	-
	屋内運動場	H3	S	1	866	新基準	-	-	-	-	-	-

年度欄の()内の数字は実施予定年度

「耐震2次診断結果」欄中の「*年度」のIS値は耐震1次診断によるもので、IS値が0.9以上のため耐震補強不要

公立学校施設の耐震化状況一覧
 (非木造施設:2階建て以上または面積200㎡以上) (令和3年4月1日現在)

○中学校

学校名	棟用途	建築年度	構造※1	階数	面積(㎡)	耐震基準※2	耐震2次診断※3結果				耐震対策	吊り天井対策
							年度	IS値※4	CT×SD値※5	q値※6		
沼田中学校	東校舎	S56	RC	3	1,328	旧基準	H21	0.70	0.343	—	不要	—
	武道場	S58	S	2	698	新基準	—	—	—	—	—	H29
	屋内運動場	S57	RC	2	1,796	新基準	—	—	—	—	—	—
沼田南中学校	北校舎	S61	RC	3	1,994	新基準	—	—	—	—	—	—
	南校舎	S61	RC	3	2,315	新基準	—	—	—	—	—	—
	武道場	S63	S	1	375	新基準	—	—	—	—	—	H30
	屋内運動場	S61	RC	2	1,237	新基準	—	—	—	—	—	—
沼田西中学校	南校舎	S40	RC	3	2,362	旧基準	H18	0.35	0.368	—	H20	—
		S41										
		S42										
	トイレ棟(東)	S41	RC	3	356	旧基準	H22	0.34	0.446	—	H24	—
	トイレ棟(西)	S41	RC	3	356	旧基準	H18	0.71	0.73	—	不要	—
	通路棟	S42	RC	3	295	旧基準	H22	0.36	0.21	—	H24	—
	北校舎	S46	RC	3	1,157	旧基準	H19	0.57	0.72	—	H27	—
	技術室棟	S46	S	1	342	旧基準	H18	0.40	—	1.59	H24	—
屋内運動場	S43	S	2	914	旧基準	H22	0.40	—	0.814	H25	—	
沼田東中学校	南校舎	S63	RC	3	1,623	新基準	—	—	—	—	—	—
	北校舎	S63	RC	3	822	新基準	—	—	—	—	—	—
	武道場	H01	S	1	375	新基準	—	—	—	—	—	H30
	屋内運動場	S63	RC	2	1,200	新基準	—	—	—	—	—	—
池田中学校	北校舎	S58	RC	3	1,653	新基準	—	—	—	—	—	—
	南校舎	H4	RC	3	1,276	新基準	—	—	—	—	—	—
	屋内運動場	H8	RC	2	1,311	新基準	—	—	—	—	—	—
薄根中学校	南校舎	S58	RC	3	1,120	新基準	—	—	—	—	—	—
		H5	RC	3	766							
	管理棟	H5	RC	2	468	新基準	—	—	—	—	—	—
	北校舎	H5	RC	3	1,654	新基準	—	—	—	—	—	—
	屋内運動場	H15	RC	2	1,450	新基準	—	—	—	—	—	—
白沢中学校	普通教室棟	S53	RC	4	2,760	旧基準	H21	0.64	0.518	—	H28	—
	特別教室棟	S53	S	1	203	旧基準	H18	0.34	—	1.34	H24	—
	武道場	S63	S	2	628	新基準	—	—	—	—	—	H30
	屋内運動場	S47	S	1	1,519	旧基準	H18	0.55	—	1.47	H26	—
利根中学校	校舎	S62	RC	3	3,802	新基準	—	—	—	—	—	—
	特別教室棟	S62	S	1	312	新基準	—	—	—	—	—	—
	屋内運動場	S63	S	2	1,482	新基準	—	—	—	—	—	—
S63												
多那中学校	校舎	S39	S	3	548	旧基準	H18	0.06	—	0.24	H22	—

※1 RC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造

※2 新耐震基準(新基準)は、建築基準法(昭和56年6月1日施行令改正)に基づく耐震基準である。昭和56年6月1日以降に建築確認を受けた建物は新耐震基準を満たしている。旧耐震基準(旧基準)は、昭和56年5月31日以前に建築確認を受けた建物の耐震基準である。昭和56年5月31日以前に建築された建物であっても、特に指定して新耐震基準で新築した場合や耐震補強工事等により新耐震基準を満たしていることもある。

※3 耐震診断は、地震に対する安全性を構造力学上診断するものである。

※4 Is値(構造耐震指標)とは、耐震診断による建物の耐震性能を表わす指標であり、Is値0.6以上で耐震性能を満たすとされているが、文部科学省は、学校施設については、おおむね0.7以上に補強するよう求めている。Is値0.3未満は大規模な地震(一般的に震度6強程度)により倒壊の危険性が高い建物とされている。

※5 CT×SD値は、水平力に対して建物または部材が保有している強度指標の累積値(CT)と建物平面・立面形状等による指標(SD)の積で表わし、0.3以上が目標値。

※6 q値とは、保有水平耐力に係る指標で、1.0以上であれば倒壊や崩壊の危険性が低く、1.0未満では危険性があるとされている。保有水平耐力とは、建物が地震による水平方向の力に対して対応する強さをいい、各階の柱、耐力壁及び筋かいが負担する水平せん断力の和として求められる値をいう。